

【第 101 回対策本部会議】 9 月 10 日

健康福祉部長／この 1 週間の感染状況は、減少傾向にある。

本日の入院患者は 146 人、病床使用率が 33.6%。前回の対策本部会議から 3 日間で 9% も落とすことができた。重症者のお 1 人が昨日お亡くなりになり、重症者は 1 人、使用率は 2.1%。ホテル療養は 161 人、使用率は 32.5%。自宅療養者は 67 人。

県内保健所管内ごとの新規感染者数の推移

唐津管内は、急激に下がった。ほかの管内も減少傾向を示している。ただ、鳥栖管内、唐津管内が若干の上昇に転じている。

鳥栖市のクラスターが起きた運輸会社を注視している。8 月 19 日に初めて陽性者を確認し、それ以降感染が続いている。本日も、家族を含め 5 人の感染が判明し、合計 24 人になった。

唐津では、行動を共にして感染が広がったグループがある。感染者のつながりを追い、感染グループに注意し、調査・分析している。

医療統括監／鳥栖管内と唐津管内の上昇要因の補足説明をする。

運輸会社は、事業所内の感染防止対策が不十分で、感染が拡大している。保健所の封じ込め作業ができていて、全体状況は把握している。しかし、数が多いので鳥栖管内の数値が少し上昇している。

唐津管内は、小規模な家族感染が散発的に起こっている。その中で、まん延防止等重点措置の対象区域の旧唐津市民が、県外に出かけ、その周辺で感染が広がった事例がある。

一人ひとりが、感染を防ぐため何ができるか考え、正しい行動をとってほしい。

坂本副知事／現在、佐賀県では県外の往来や会食を自粛するようお願いしている。

感染事例を紹介する。緊急事態宣言地域の博多の繁華街で会食し感染した事例。また、まん延防止等重点措置の唐津市民で、家族でない 5 人以上の集団が、1 台の車に乗り合わせて県外に旅行に行き、全員が感染したという残念な事例がある。これらは、行動自粛を守ってもらえたら、防ぐことができた事例。非常に残念なこと。

感染は完全に防ぐことはできないし、誰が感染してもおかしくはないが、お願いしている行動自粛にご協力いただきたい。この対策本部会議を見ている市町の担当者、この場にいる各部署局長は、このことを関係団体に伝えてほしい。

知事／本県は減少傾向にあるが、近隣県の福岡県は緊急事態宣言、熊本県もまん延防止等重点措置、全国でも 19 の都道府県で緊急事態宣言が続いている。デルタ株が主流になっていることも考えると、予断を許さない状況だと認識しないといけない。

それが前提ではあるが、非常警戒措置を解除することに決定する。

教育長／2学期が本格的に始まった。いくつかの高校では、体育祭が開催された。今のところ、学校での感染拡大は確認されていない。学校現場の感染症対策が徹底されているおかげ。

数校の体育祭を視察した。いずれの学校も、マスク着用、応援合戦での声出しの工夫が実施されていた。生徒には、我慢の体育祭となっているが、元気な様子も見られ、実施できてよかったと実感した。

10月に入ると、小・中学校、実業系高校の体育祭が予定されている。十分な感染症対策を施し、実施していきたい。

県の非常警戒措置の解除に伴い、13日以降の部活動は校内に限り再開する。県内交流、大会への参加、県外との交流は、引き続き自粛する。ただし、九州大会、全国大会につながる公式大会など、特段の理由がある場合は、感染症対策を徹底した上で参加可能にする。

身体接触を伴う感染リスクの高い活動は、最小限にしてほしい。さらに、部活動の前後の休憩や更衣、移動なども気を抜かずに感染症対策を徹底してほしい。また、部室の使用は密になりやすいので、短時間、少人数、マスク着用、飲食禁止、会話を慎むよう、各学校に徹底をお願いする。引き続き、緊張感をもって学校での感染症対策に取り組んでいく。

知事／8月の夏休みに高校生の感染者が増え、9月の新学期での感染拡大を懸念したが、今のところ収まっている。その原因は？

教育長／8月の感染の中心が一時期、高校生だった。現場では、最大限の警戒心をもって新学期に臨んだと思う。学校を訪問し、不織布マスク着用の徹底をお願いし、徹底的に取り組んでいただいた。その効果ではないか。

知事／佐賀県は去年のSSP杯をはじめ、スポーツや文化の成果を発揮する場を大事にできた。これから秋の大会もある。できる限り実施する方向で、やれることをやっていく。大人が感染を防ぐ行動をとることで、子供たちが伸び伸びと活動できる。一致団結してやっていきたい。

寺島産業労働部長／県独自の非常警戒措置の解除を受け、感染予防対策の徹底を前提に、大変厳しい状況の飲食店、その取引業者、生産者の支援をお願いする。

国のGo To Eatキャンペーンを活用した「SAGA おいし〜と食事券」は、すでに8月10日で完売している。今回の非常警戒措置の実施に伴い、利用期間を10月31日まで延長した。

県独自の取組として、第2弾「SAGA おいし〜と食事券 やっぱり佐賀が好き」を10月1日から販売を開始する予定で準備を進めている。販売は年内いっぱい、利用は10月1日から来年1月31日まで。10月は、今の食事券と10月からスタートする食事券の両方を使える。

宿泊キャンペーンは、新規予約を一時停止している。再開が決まったらお知らせする。

知事／病床使用率が3日間で9ポイントほど下がり、33.6%になった。これが25%になり、下がる見込みがつかると、ステージ2が視野に入ってくる。そこまでは予断を許さない。病床使用率が25%まで下がることを意識していきたい。

時短措置も12日の日曜日で終了する。これまで病床使用率が上がるたびに非常警戒措置を行なった。3回の措置で、すべて数字が下がった。本当に素晴らしい県だと思う。

コロナ対策は部分的にではなく、みんなが一つになって取り組まないとうまくいかない本当に難しい対策。しかし、佐賀県はみんなで一つになって動く。県民の皆さんの努力の結晶だと思う。

これを維持するため、今回は一旦解除してメリハリをつける。また病床使用率が上がり、救える命が救えないような状況になったら、非常警戒措置を行う。解除の期間が長く続くように皆さんと共に取り組んでいく。

今回の減少は、まん延防止等重点措置の対象地域であった唐津市の頑張りが大きい。改めて唐津の皆さんには感謝する。

来週以降も緊急事態宣言の区域が19都道府県、まん延防止等重点措置の区域が8県あり、27都道府県が何らかの区域に入っている。対象でなくても、感染者数が多く、時短措置を行なっている県もあり、全国的にはまだ厳しい状況にある。他県から県内へ持ち込まれるケースも多い。保健所や医療機関の皆さんは日々大変な努力をされている。感染経路が県外への旅行だとわかるとがっかりする。もうしばらく辛抱し、県内での行動にとどめてほしい。

県外との往来と県外での会食は自粛してください。どうしても必要な場合は、慎重に判断を。

重症者の方が、昨日お亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りします。

重症者を出さない一番の要因は早期治療。早い段階で最初のチェックをして、症状に見合った医療提供をする。これが重要で、重症化が避けられている。今後とも、そこを最優先にやっていきたい。

早期治療ができず重症化する原因は、症状が出ても我慢したり、医療機関に行かなかったりすること。治療が遅れ重症化すると、年齢に関わらず長引く。症状が出たらすぐに受診し、早期の治療を受けてほしい。

改めて、医療機関はじめ介護、福祉、保育所、教育現場の皆さん、保健所、市町の皆さん、県職員、県民の皆様には心から感謝したい。

誹謗中傷があると、コロナ対策はうまくいかない。ぜひエールを送りたい。

ワクチンは、国の支援もあり供給のめどがつつある。思いやりの心をもって順次接種を。ワクチンがすべてではないが、陽性になる確率は下がり、重症化のリスクは小さくなっている。

今後とも佐賀県は、新型コロナ対策に全力で取り組んでいく。